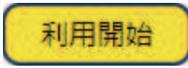


双方向ネットワークで通信を行う場合、同一のネットワークグループである必要があります。
クラス内で同一のネットワークにない場合は手動にてネットワーク番号を指定する必要があります。

●確認方法

- ①アプリを開き、「利用開始」をクリックする



- ②ネットワーク番号を表示し、全員一致しているか確認する

方法1: 「その他」→「利用中のネットワーク番号」をクリックし、ネットワーク番号を表示



方法2: ブラウザのタブで確認する



- ③利用中のネットワークが

同一の場合: そのままご使用できます。

異なる場合: **下記「手動設定」を行って下さい。**

●手動設定方法

- ①一度アプリを再読み込みする

Chromebook の場合: 「」キー

Windows の場合: 「F5」キー

- ②「その他」→「設定」をクリックし、設定画面を表示する

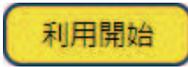


- ③クラス全員が一致するようにするよう任意のネットワーク番号を入力する

※ネットワーク番号は1～255までの半角数字で入力して下さい



- ④「利用開始」をクリック



- ⑤上記 **●確認方法** の②③の手順を行いネットワーク番号が一致しているか確認する

自分の「生徒番号」の入力間違い、全角の数値入力間違いに注意しましょう

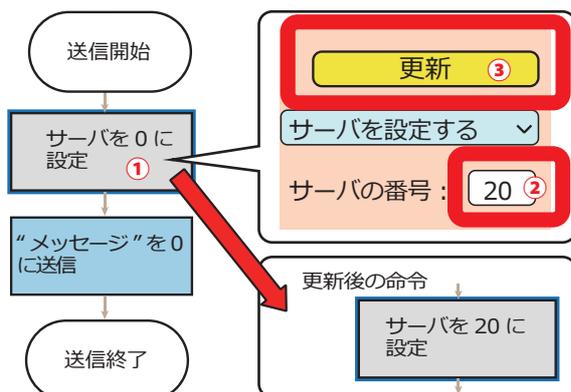
プログラム画面の自分の「生徒番号」

例：自分の生徒番号が「10」の場合

Web アプリ画面の自分の「生徒番号」の数値が正しく入力されているか、確認します
(全角で入力するとエラー表示が出ます)

サーバ設定の命令の入力間違い、全角の数値入力間違いに注意しましょう

フローチャートプログラミング



例：サーバの生徒番号が「20」の場合

- ①サーバ設定の命令をクリックし、パラメータをひらきます
- ②「サーバの番号」の数値が、正しく入力されており半角英数で入力しているか確認します
- ③「更新」を押して命令を確定します

ブロックプログラミング

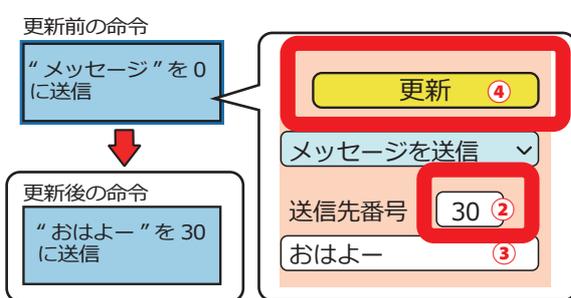


例：サーバの生徒番号が「20」の場合

「サーバの番号」の数値が、正しく入力されており半角英数で入力しているか確認します

送信先の「生徒番号」の入力間違い、全角の数値入力間違いに注意しましょう

フローチャートプログラミング



例：送信先の生徒番号が「30」の場合

- ②フローチャートプログラムをご利用の場合
命令「メッセージを0に送信」の「送信先番号」の数値が、正しく入力されているか、半角英数で入力しているか確認します
(送信先の「生徒番号」に自分の番号を間違えて入力しないようにしましょう)
- ③メッセージを任意に入力します
- ④「更新」を押して命令を確定します

ブロックプログラミング



例：送信先の生徒番号が「30」の場合

自分の「生徒番号」の入力間違い、全角の数値入力間違いに注意しましょう

プログラム画面の自分の「生徒番号」

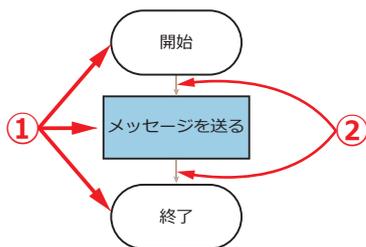
例：自分の生徒番号が「20」の場合



- ① Web アプリ画面の自分の「生徒番号」の数値が正しく入力されているか、確認します
(全角で入力するとエラー表示が出ます)

サーバのプログラムが出来ているか注意しましょう

フローチャートプログラミング



- ①「開始」「メッセージを送る」「終了」だけのシンプルなプログラムを作成します
②矢印でキチンと接続されているか確認します

ブロックプログラミング



- ①「開始」「メッセージを送る」だけのシンプルなプログラムを作成します

プログラム作成後、必ず「プログラムセット」を押してください

『プログラムセット』を押してプログラムを確定する



- ①『プログラムセット』を押してサーバのプログラムを確定します



- ②クライアントはその後、メッセージ等の送信を開始します。
③サーバが正しく受信できると、通信ログに表示されます



この「正しく通信している状態」が確認出来たら応用的なプログラミングを始めましょう